

2014 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	スポーツ・健康科学部
評価基準 1	理念・目的
点検・評価項目(1)	1-1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
評価の視点	理念・目的の明確化
	設置の主旨や歴史からみた理念・目的の適切性
	個性化・独自性、国際化への対応
点検・評価項目(2)	1-2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
評価の視点	構成員に対する周知方法と有効性
	社会への公表方法
点検・評価項目(3)	1-3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

II 【点検・評価項目ごとの現状説明】

1-1	<p>・2005 年学部設立時の理念は、スポーツ科学科においては、トップアスリートの育成に加え、スポーツ指導者の養成とスポーツ文化の普及に努め、さらには地域に密着した健康づくりに貢献すること。また、健康科学科においては、疾病予備軍の危険因子の解明とその正常化への科学的バックアップ、健康増進因子の解明、予防医学への貢献など、科学的根拠をベースに健康づくりをサポートすることであった。</p> <p>・両学科の「教育研究上の目的」は、学則第 2 条の 2、(18)(19)に簡潔に定められ、大学 HP 上にも掲載されている。内容は「スポーツ・健康科学部スポーツ科学科は、スポーツ科学に関する学識を修め、人間性豊かなスポーツ指導と健康づくりの能力を有する人材の養成を目的とする。」「スポーツ・健康科学部健康科学科は、生命の尊厳に基づいた生活の質を理解し、医療と保健の幅広い分野で国民の健康づくりに貢献できる人材の養成を目的とする。」である。</p> <p>・学部の「教育研究上の目的」は定められていなかったが、2013 年度に制定され大学学則第 2 条の 2 に明記された。</p>
1-2	<p>・「教育研究上の目的」として学則に定められ、本学 HP 上にも掲載されている。</p> <p>・2011 年度から履修の手引「羅針盤」に明記し、毎年のガイダンス時にも学生に対する確認を行っている。</p> <p>・しかし、学部の理念・目的が構成員にどの程度浸透しているかの検証はしていない。</p>
1-3	<p>・学則第 2 条の 2、(18)(19)に簡潔に定める際に、理念・目的の適切性に関して若干の見直しを行ったが、検証システムが未構築なので定期的な検証はできていない。</p>

【効果が上がっている事項】

1-1	<p>・各学科の理念・目的・教育目的等については、履修の手引き「羅針盤」に明記し、入学直後の「スタートアッププログラム」等のオリエンテーション行事およびガイダンスを通じ周知し、さらに初年次の基礎教育必修科目フレッシュマンセミナー（スポーツ科学科）、健康科学基礎演習（健康科学科）において周知徹底している。</p> <p>・特にスポーツ科学科では履修の手引き「羅針盤」に、アドミッション・ポリシーと「Big Hand」と総称している 5 項目のステューデントポリシーを明示し、学部の理念、目的、教育目標を分かりやすい言葉で提示している。</p> <p>・理念・目的に沿った教育が行われ、2013 年度卒業生アンケートの結果を見ても卒業生の満足度が 80%を超えており、徐々にその成果が確認されている。</p> <p>・学部の教育・研究上の目的に関しては、2013 年 12 月 18 日から改正された学則が施行され、「スポーツ・健康科学部は、本学の建学精神とその教育理念に基づき、国民の健康の維持と増進を視野に、スポーツを投資手文化の発展と健康づくりに貢献できる人材の育成、医学・健康関連分野で健康の増進に寄与できる人材の育成を目的とする。」と制定された。</p>
1-2	<p>・スポーツ科学科では、毎週のフレッシュマンセミナーの冒頭で校歌斉唱と「Big Hand」の全員での音読を実施し、理念・目的の周知徹底を目指した。</p> <p>・健康科学科では、ガイダンスや基礎教育必修科目「健康科学基礎演習」において、教育の目標等に関して周知徹底した。</p>
1-3	

【改善すべき事項】

1-1	
1-2	<p>・毎年のガイダンス時に学生に対する確認を行っているが、学生の認知度が明確になっていない部分があるので、改善の方策を講ずる必要がある。</p>
1-3	<p>未組織となっている検証システムを構築する。</p>

Ⅲ 本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

<p>大東文化大学学則： https://login.st.daito.ac.jp/ws/gw/rules/cgi-bin/d1w_savvy/D1W_resdata.exe?PROCID=-2097430899&CALLTYPE=1&RESNO=1&UKEY=1388982821985 スポーツ・健康科学部 HP：http://www.daito.ac.jp/education/sports_health_science/information/message.html スポーツ・健康科学部、履修の手引き 2011：羅針盤 FD 報告書 2013 年度版、大東文化大学 FD 委員会</p>

【2014 年度からの達成目標】

【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価					
			2014	2015	2016	2017	2018	
中期目標 (2014～ 2018)	1-2 ・学部構成員(教職員、学生)に対して、学部・学科の理念・目的の周知を図る。	・理念・目的を掲載した配布物 ・アンケート集計結果における認知度の経年変化	→					
14 年度 目標	1-2 ・在校生、卒業生アンケートに学部・学科の理念・目的を問う設問を付加することを、大学 FD 委員会に働きかける。	・アンケート集計結果	→	B				